

英国では、1970年代に犬の数が7百万匹を越え、それともなつて、犬の飼い主の無責任さも問題となりました。社会的な圧力により、多くの地方自治体は、通りの迷い犬を捕獲するための犬監視員を任命しました。Sue Bell女史は、1988年に設立された英国国立犬監視員協会の会長ですが、彼女が、昨年10月にブダペストで開催された国際動物福祉会議(International Animal Welfare Conference)で行ったスピーチの一部を以下に引用します。

第3回

迷い犬とは何か？

責任ある犬の飼い方を目指して

どのような犬でも、誰にも連れられず、監督されずに公共の場所をうろついていれば、迷い犬と呼ばれる可能性があります。ところが、もっと別の種類の迷い犬もいます。

迷子犬。自分の犬が迷子になっていると分かったら、すぐに捜してく

れる飼い主がいて、その飼い主からはぐれてしまった犬です。

このような犬は、何らかの理由で家から逃げ出さず、抜け出したのでしょうか。

盗まれた犬。泥棒が飼い主から盗み、その後で捨ててしまった犬。捨てた理由としては、盗みの目的に合わなかった場合と、目的を果たした場合(一部の犬は、繁殖や不法な闘犬のために盗まれます)とがあります。

捨て犬。様々な理由で飼い主から捨てられた犬です。繁殖用の雌犬で、繁殖には年を取りすぎている場合があります。年配の飼い主が死んだために身内の者が捨てた犬や、かわいい子犬として引き取られてきたが、気性に問題があって、青年期に手に負えなくなった犬もいます。「鍵っ子」犬。「鍵っ子」犬の一つのタイプとして、昼も夜も通りをうろついているが、餌を食べたり、悪天候を避けるために、自分の家に時々戻る犬がいます。別のタイプとして、運動やストレス解消のために、朝と夜に監視なしで放される犬がいます。

過去2世紀の間に、犬は、実際に仕事をする動物から、コンパニオン動物へと変わってきています。しかし、犬を

飼えば何か良いことが誰にでもあるというものでしょうか。多くの人は、結末を考えずに、自分たちの望むものを所有する権利を簡単に行使します。自分の飼い犬の適切な世話や適切な管理に失敗することには、気づきません。その結果が迷い犬です。



現在、犬監視員の法的な役割は、警察官(1906年犬法により迷い犬について責任が警察官にある)と動物虐待防止王立協会(RSPCA)検査官との中間にあります。RSPCA検査官は、動物の虐待や過失責任について疑いのある者を起訴することができ、この点で警察官と同等の権限を持っています。

犬監視員は、迷い犬の鳴き声や排泄物、その他の一般的な迷惑について、一般市民の苦情を処理する義務がありま

す。また、無責任な犬の飼い主と話し合い、問題の解決に努める義務もあります。教育プログラムを通して、犬の飼い主としての責任感を高める努力も彼らは払います。1991年以前は、犬監視員に法的な地位はありませんでした。1992年に環境保護法が施行され、全ての地方自治体は、犬監視員を任命し、その管轄地域内の迷い犬を集めて7日間保護し、飼い主が現れない場合には処分の手配をすることが求められるようになりました。一般に、RSPCAのような動物福祉団体が地方自治体と契約し、報酬をもらって犬の世話を7日間しています。それが過ぎ

ると、個々の収容施設の方針や状況に応じて、犬のもらい手を募集するか、または、安楽死させます。1993年から1995年までの3年間の平均統計によると、監視員が保護した迷い犬の内、約20%は飼い主に直接返され、約30%は収容施設内で飼い主に見つけられ、約35%は別の飼い主にもられ、残りが永眠させられています。

一部の人は、英国の犬監視員と日本の保健所の犬捕獲員とを対比するかもしれませんが、その姿勢は全く異なります。先に述べた状況から明らかなように、全ての努力は、犬達を飼い主に再会させ、それが不可能な

ら新たな飼い主を見つけるためのものであり、ごみのように処分するためではありません。地方自治体と、警察、動物福祉団体がこれに協力しているということは、すばらしいことです。無責任な飼い主はどちらの国にもいます。しかし、適切な世話と管理についての教育を通し、また、管理規定に従うことを拒否した飼い主についての罰則を定めることによって、この問題に取り組まねばならず、犬達に究極の代償である死をもって支払わせるべきものではありません。